

令和 3 年 度
事 業 報 告 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 北海道防犯協会連合会

令和3年度事業報告

第1 公益目的事業

1 地域安全活動の推進

(1) 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

道民の防犯意識の高揚を図るため、警察及び自治体、関係機関・団体等と連携して各季の地域安全運動を情勢に応じて実施したほか、「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」と協働しながら、「安全・安心どさんこ運動」の普及促進を図るなど、各地区の防犯協会等が道民と一体となって、「犯罪の起きにくい社会づくり」を推進した。

ア 地域安全運動の実施

○ 春の地域安全運動

5月11日（火）から同月20日（木）までの10日間実施した春の地域安全運動は、子供と女性の犯罪被害防止と特殊詐欺の被害防止、新型コロナウイルス感染症を踏まえた犯罪被害防止などを運動重点として実施したが、運動初日に例年実施している「安全安心な地域づくり」道民の集いは、新型コロナウイルス感染症対策の取組強化に伴い中止となった。

各方面・地区防犯協会には、運動重点のほか自転車盗の発生も懸念されることから、警察や防犯ボランティア、関係機関・団体と連携し、新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した防犯活動の推進を依頼した。

○ 全国地域安全運動

10月11日（月）から同月20日（水）までの10日間、子供と女性の犯罪被害防止と特殊詐欺の被害防止などを運動重点として実施した。

例年実施している『「安全安心なまちづくりの日」道民の集い』は札幌市の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ中止となったが、知事（北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議会長）から全国地域安全運動に

向けた「知事メッセージ」が発出されたことから、各方面・地区防犯協会には、運動重点として子供と女性の犯罪被害防止と特殊詐欺の被害防止のほか地域の情勢に即した防犯活動の推進を依頼した。

○ 歳末地域安全運動

12月15日（水）から同月31日（金）まで、特殊詐欺被害防止活動と子供・女性の犯罪被害防止活動の推進を運動重点として実施を依頼した。

地域住民の安全と平穏を確保するために例年実施していた薄野交番勤務員の激励は、交番が建替中で仮設交番も狭小なため参加せず、薄野歓楽街の防犯パトロール出発式に参加し、パトロール車両の出発を見送った。

イ 広報啓発活動資料の作成配付

- 春の地域安全運動のため、広報啓発印刷入りポケットティッシュ3種類（特殊詐欺被害防止、女性子供の犯罪被害防止、自転車盗被害防止）合計16万5,000個を制作配付した。
- 春の地域安全運動の広報啓発のため、道警察と連携して、防犯アンバサダー（吉本興業所属タレント）を委嘱し、犯罪被害防止の寸劇をYouTubeで配信した。
- 全国地域安全運動の広報啓発用ポスター1,070枚、広報啓発チラシ1万1,000枚を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 全国地域安全運動の広報啓発のため、日本ハムファイターズの協力を得て、「犯罪から身を守ろう！」の中刷りポスター4,000枚を作成配付した。
- 歳末地域安全運動の広報啓発用使い捨てカイロ1万1,000個を制作配付した。
- 防犯カレンダー1,600部を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 全国防犯協会連合会が配付した広報啓発冊子「ネットの安全ルール」、「本当のところ、大麻ってどうなのよ？」や映画会社と提携した防犯ポスター「ポケットに防犯ブザーと警戒心」を配付した。

- サイバー犯罪対策用広報啓発のため、札幌デザイナー学院生が作成した「インターネット上の誹謗中傷防止」の広報啓発用ポスター4,000枚を制作配付した。
- 特殊詐欺被害防止広報啓発シールを貼った入浴剤1万1,000個を制作配付した。
- 当連合会機関紙「道防連だより」を年4回（各5,000部）発行した。
- 全国防犯協会連合会広報誌「安心な街に」2,520部を全国防犯協会連合会から購入して配付した。
- 北海道防犯協会連合会のホームページの「地域安全活動の推進」欄に地区防犯協会の活動や「賛助会員」を追加更新した。

(2) 協働連携事業

ア 方面・地区防犯協会等の防犯活動に対する協力支援の実施等

- 方面・地区防犯協会に対する協力支援事業等への積極支援
各方面及び地区防犯協会と協働・連携して行う各季の地域安全運動を始めとする防犯活動に関する協力支援事業を積極的に推進するとともに、事業経費の一部を助成するなど積極的な支援を行った。
- 関係機関・団体等との協働活動の推進
道警察、関係機関・団体及び地域住民等との協働による各種犯罪の防止に向けた地域安全活動を推進し、住民が不安を感じ道警察が重点犯罪としている子供・女性を対象とした犯罪被害防止と特殊詐欺被害防止に志向した街頭啓発活動や防犯パトロール、高齢者宅訪問防犯活動等を推進した。

イ 防犯ボランティア団体等の活動の促進

- 防犯ボランティア団体の現状
令和3年末における道内の防犯ボランティア団体暫定数は、1,347団体（前年対比－33団体）であり、各方面及び地区防犯協会を通じて各種情報

を提供し、防犯ボランティア団体の拡充と活動の活性化を図った。

○ 次世代を担う学生防犯ボランティア育成のための継続管理支援事業

道警察との協働により、将来、地域の防犯ボランティアを担う人材の育成を図るため、昨年度からの継続登録者417名を始め、大学生等の学生を対象に防犯ボランティア活動に関する講習会を道内各地で17回開催し、受講した234名を新たに「学生防犯ボランティア」として登録管理し、地域の防犯ボランティア活動に関する情報を提供するなどの支援を行い、防犯ボランティアの育成を図った。

○ ボランティアリーダー養成講座の開催

道警察と協働して、地域において中核となって自主防犯活動を行っている防犯ボランティアを対象に開催を予定していたリーダー養成講座は、新型コロナウイルス感染防止のためリモート形式による開催を検討したが、日程と受講者のリモート環境が整わなかったため開催できず中止とした。

○ 子どもの安全を見守る運動と青色回転灯装備車両の普及促進

- ・ 令和3年末における道内の青色回転灯を装備した自主防犯パトロール車の暫定台数は3,032台（前年比－135台）で、各地で通学路における防犯パトロールを行い、子どもの安全を見守る活動を展開した。
- ・ 日本宝くじ協会が行う「青色回転灯付パトロール車整備事業」により受贈した青色回転灯付パトロール車1台を富良野地区防犯協会連合会の中富良野町生活安全推進協議会に配置した。

ウ 少年の非行防止と健全育成

○ 少年の居場所づくり事業の協働開催

道警察、道少年補導員連絡協議会と協働で実施の「少年の居場所づくり（JUMPプラン）事業」及び各方面防犯協会連合会、道警察各方面本部等

と協働で実施の「方面JUMPプラン事業」に支援を行い、少年の規範意識の醸成と健全育成を図った。

令和3年度における実施回数は73回、参加人員は614名で、活動別の内訳は次のとおりである。

- ・社会参加活動 29回実施 314名参加
- ・農業体験活動 11回実施 190名参加
- ・学習支援活動 33回実施 110名参加

○ 少年の健全育成、性被害の防止活動

道警察と連携して、札幌平岸高校デザインアートコースの生徒が制作した「少年による大麻などの薬物乱用防止」と「SNSによる性犯罪被害防止」のポスター各2種類を合計8,000枚作成し学校などに配付した。

○ 関係機関・団体等の取組みへの参画

北海道が7月に実施する「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」と発出された「北海道知事メッセージ」に協力して、全道の防犯協会を通じ青少年の非行防止と被害の防止を図る取組を推進した。

○ カラオケボックス管理者講習会の開催

11月16日（火）、北海道カラオケボックス協会等と協働して、カラオケボックス営業管理者に対するオンライン講習会（受講者108店舗117名）を開催し、「犯罪情勢と防犯活動」について講話、安全で安心な営業気運の醸成、防犯意識の高揚を図った。

○ 全国地域安全運動等ポスター・標語への応募

全国防犯協会連合会が行う「全国地域安全運動等に向けたポスター・標語の募集事業」の実施に共催し、各地区防犯協会を通じて道内の小・中・高等学校等に働きかけを行い、青少年の規範意識の高揚を図った。

募集の結果、青色回転灯装備車の活動写真4点の応募があった。

エ 薬物乱用防止活動

全道の小学校、中学校、高等学校で開催の薬物乱用防止教室などで使用する資料として配付した全国防犯協会連合会の広報啓発冊子「薬物乱用防止ガイド」を活用し、青少年の薬物乱用防止意識の醸成を図った。

(3) 防犯功労者等表彰

ア 北海道防犯協会連合会の表彰

各方面防犯協会（団体）連合会から推薦のあった表彰候補者の中から、防犯功労者60名、防犯功労ボランティア団体14団体を選考し、理事長と北海道警察本部長との連名により表彰した。

6月4日に予定していた防犯功労者等表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したことから、各地区防犯協会に対して、警察署長と連携して伝達することを依頼した。

イ 全国防犯協会連合会の表彰

全国防犯協会連合会が行う防犯功労者等表彰の表彰候補者（団体）を選考・推薦した結果、防犯功労者36名（防犯栄誉金章4名、防犯栄誉銀章8名、防犯栄誉銅章24名）及び防犯功労団体1団体、功労ボランティア団体2団体が受賞しましたが、9月30日に予定されていた全国地域安全運動中央大会での表彰式は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止された。

2 自転車防犯登録事業

(1) 自転車防犯登録指定店に対する指導

自転車の防犯登録に係る業務を行う者として、指定した自転車販売店である「自転車防犯登録所」に対し、半期ごとに登録カードの在庫状況の報告を求めて取扱状況を確認するなど自転車防犯登録カード等の保管管理の徹底を図り的確な

登録事務の推進について指導した。

(2) 防犯診断等の実施

各地区防犯協会において警察署等と連携し、自転車防犯登録診断カード（11万枚製作）を活用した駐輪場等における防犯診断のほか、「防犯登録とツーロック」の広報啓発用不織布マスク（1万3,000枚）を制作配付し、自転車防犯登録の促進と盗難被害防止の啓発を行った。

(3) 自転車防犯登録取扱台数

令和3年度の自転車防犯登録取扱台数は11万646台（前年度比－4,688台）であった。

3 防犯モデルマンション認証事業

令和3年度末で76棟を「防犯モデルマンション」として認証している。

第2 その他事業（北海道公安委員会からの受託事業）

1 風俗営業管理者講習の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業管理者を対象とした講習会を道内各地で35回開催し、764名が受講した。

2 風俗営業の新規許可申請等に伴う現地調査の実施

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律等に基づき北海道公安委員会から委託を受け、風俗営業の新規許可申請等に係る営業所の構造設備、営業制限地域に関する調査を行う調査員を令和3年4月1日付で64名委嘱し、風俗営業の新規許可133件、構造設備変更8件の現地調査を実施した。

第3 会議等

1 北海道防犯協会連合会関係

- ・ 通常理事会（第1回：令和3年5月13日、第2回：令和4年3月10日）
- ・ 定時評議員会（決議があったともものとみなされた日：令和3年6月10日）

2 全国防犯協会連合会関係

- ・ 都道府県防犯協会専務理事・事務局長会議及び風俗環境浄化事業運営管理者研修会（オンライン会議）（令和3年7月16日）